

～農・漁・商連携の朝市の実験的運営と 年末イベントの実施～

近隣消費者を重視した試みとして、小松島漁協やNPOの協力のもとに地元産品の直売を行う朝市の開催や、年末イベントとして抽選会を伴うイルミネーションを実施した。イルミネーションは、当商店街では初めての試みであったが、来街者からの評判は良く、翌年度の事業につながるものとなった。

所在地：徳島県小松島市小松島町字領田20
TEL:0885-33-3344 FAX:0885-33-2150
URL：<http://lupia.sakura.ne.jp/>
組合員数：22名
商店街の類型：共同店舗組合

商店街の概要と事業を実施した背景



LUPIA 徳島市と徳島県南部を結ぶ国道55号沿いにある共同店舗組合。地元では小松島ショッピングプラザ“ルピア”の愛称で知られている。食品専門店や生活雑貨店、衣料品店など多様な業種で構成されており、市内及び近隣市町村から自家用車での来街が多くみられる。平日は食料品等を求める地元の高齢者、休日はショッピングとレジャーを求める子供連れのファミリー層が中心となっている。一方で、周辺には複数の大型商業施設が進出しており、買い物客の流出に伴い、売上・来街者がともに減少していることが課題となっている。そのため、地域コミュニティの核として、施設及び事業の再構築が求められている。

実施した事業の概要

①漁協と連携した朝市の開催

生鮮野菜の販売に地元小松島漁協の鮮魚を加え、地産地消をうたった直販会を実施。毎回チラシを40,000枚印刷し広域に配布した効果もあり、回を重ねるごとに店出者や来街者が増加してきている。

また、農産物や鮮魚のみを販売していた従来の朝市から、近隣農家の農産物や特産品、弁当などを生産者自らがお客様に説明し販売をするという内容に変えたことで、お客様との距離が縮まり信頼感が生まれた。それによりお客様の要望も把握することができ、次につながる新たな方向性も見えてきた。

②イルミネーションによる集客事業

従来の年末イベントはセールと抽選会が中心であったが、国道55号の通行車両にアピールするためにビル壁面を主体にLEDイルミネーションの装飾を施した。夜間は暗く目立たない建物であったが、イルミネーションを装飾したことにより、明るく季節感が演出され通行者の来街促進へとつながった。イルミネーション効果にチラシと地元新聞社の取材等による効果が加わり、従来からのイベントである歳末抽選会も大変な賑わいを見せた。



成果と成功の要因

理事が中心となって「朝市年末イベント実行委員会」を組織し、委員会のもとに女性や若手組合員を主体とした3つの部会（朝市担当、イルミネーション担当、年末セール担当）を設置した。これにより個々の役割が明確となり、効率的な事業が運営できた。

また、小松島市をはじめ、漁協やNPO法人等の外部機関と密に連携を図ったことにより、円滑な事業を遂行することができた。これらの結果、ファミリー層を中心とした来街者への認知度が向上し、歩行者通行量の増加、さらには空き店舗数の減少にもつながった。

今後の取り組み

今回の事業は、助成金と組合員やテナントから徴収した販促費によって実施した初の取り組みであったが、お客様の評判もよく、周辺の住民を集客することに効果があることが分かった。今後も定期的な朝市の開催に加え、様々なイベントを組み合わせることで、周辺住民の来街頻度を増やし商店街の賑わいを創出していく予定。資金面については、当面は店出者から出店料を徴収し運営をしていくが、将来的には販促費からの補填に頼らず、運営を続けられる方法を模索していく。